

SONY

2004年度

連結業績概要

(2005年3月31日に終了した1年間)

ソニー株式会社 IRオフィス

このスライドに記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上または資産・負債を有する米ドル、ユーロまたはその他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入と急速な技術革新や、エレクトロニクス、ゲーム、音楽、映画分野で顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスをソニーが設計・開発し続けていく能力、(4)ソニーがエレクトロニクス、音楽、映画分野で人員削減やその他のビジネス事業再編を成功させられること、(5)ソニーがエレクトロニクス、音楽、映画、その他分野においてネットワーク戦略を成功させられること、音楽、映画分野でインターネットやその他の技術開発を考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること、(6)ソニーが主にエレクトロニクス分野において研究開発や設備投資に十分な経営資源を適切に集中させられること、および(7)ソニーと他社との合併、提携の成否、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

FY04 業績ハイライト

営業利益は前年度比15%の増益。映画や金融分野の業績が好調に推移。
エレクトロニクス分野は、価格下落にともなう原価率の悪化などにより営業損失拡大。
希薄化後1株当り当期純利益は、82%増の158.07円。



「スパイダーマン2」などの貢献により、映画分野の営業利益は大幅増益。

携帯型ゲーム機「プレイステーション・ポータブル」の導入成功。
年度末までにハード297万台、ソフト570万本を出荷。



SMEJは好業績、営業利益が3.5倍。



SEMCが好調、税引前利益が5.7倍。
携帯電話の販売台数は41%増の4,310万台。

SMEとBMGがソニーBMG設立。新会社を通じて著名な音楽レ
ーベルや世界的/ローカルアーティストなどの楽曲を提供。



ソニーとパートナー各社によるコンソーシアムがMGM買収完了(2005年4月)。

FY04 連結業績

(億円)

	FY03	FY04	前年度比	前年度比 (LCベース)
売上高および営業収入	74,964	71,596	-4.5 %	-3 %
営業利益	989	1,139	+15.2 %	+26 %
税引前利益	1,441	1,572	+9.1 %	
持分法による投資利益	17	290	17 倍	
当期純利益	885	1,638	+85.1 %	
一株当り当期純利益(希薄化後)	87.00円	158.07円	+81.7 %	
構造改革費用**	1,681	900	-781 億円	

為替変動による業績への影響額

	平均レート	FY03	FY04
売上高および営業収入:	約 1ドル	約 112 円	約 107 円
営業利益:	約 1ユーロ	約 131 円	約 134 円

* LCベース: 円と現地通貨との間為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)

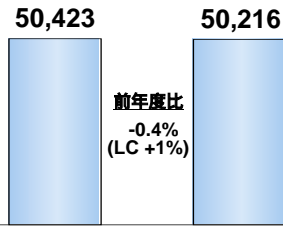
** 構造改革費用は営業費用に含まれる。

FY04 エレクトロニクス

ソニー連結 エレクトロニクス分野

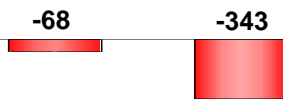
(億円)

売上高



- 増収: フラットパネルテレビ、デジタルスチルカメラ、液晶リアプロジェクションテレビ
- 減収: ブラウン管テレビ、携帯型オーディオ

営業利益



- 価格下落による売上原価率の悪化により減益
- 構造改革費用818億円計上 (FY03は1,478億円)

FY03

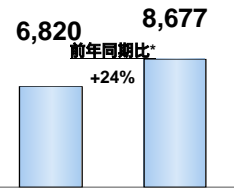
FY04

セグメント間取引を含む / LC: 現地通貨試算ベースの伸び率

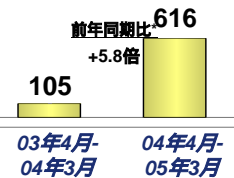
ソニー・エリクソン

(億円)

売上高



税引前利益

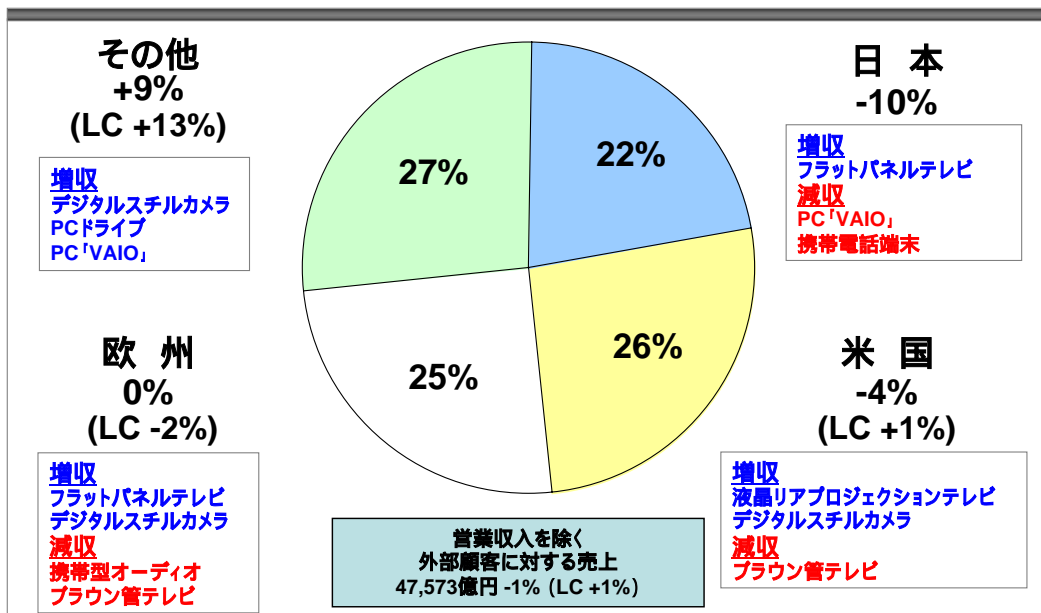


上記の売上高および税引前利益は、ソニーが株式の50%を保有する持分法適用会社、ソニー・エリクソンの業績で、便宜上03年4月-04年3月は1ユーロ=131円、04年4月-05年3月は1ユーロ=134円で計算しています。
*伸び率はユーロで計算しています。

Sony Corporation Investor Relations

5

FY04 エレクトロニクス地域別売上

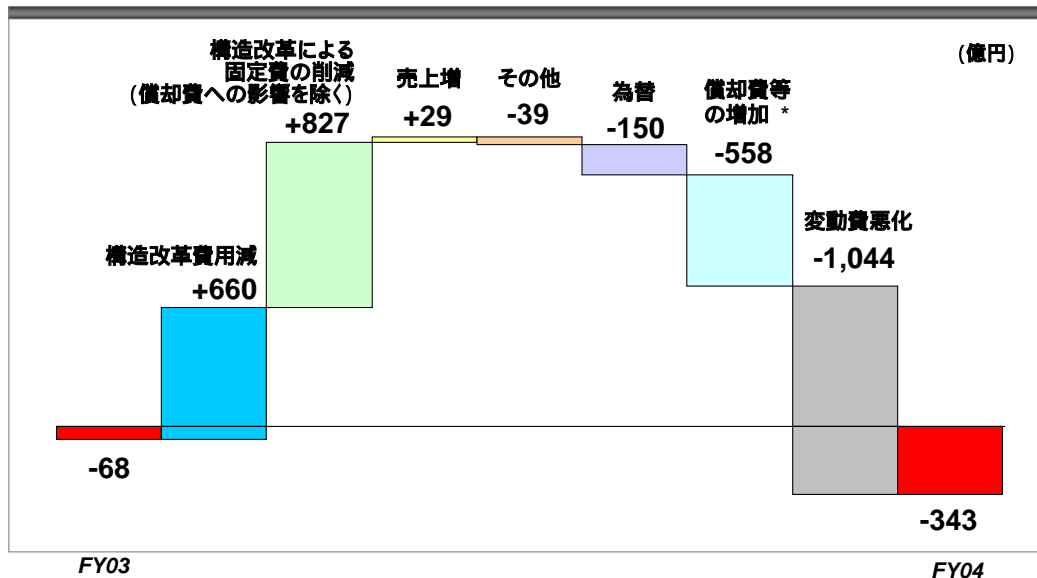


円グラフは地域別売上高構成比(円ベース) / 円グラフ外の%は前年同期比伸び率 / LC: 現地通貨試算ベースでの伸び率 / 営業収入を除く外部顧客に対する売上

Sony Corporation Investor Relations

6

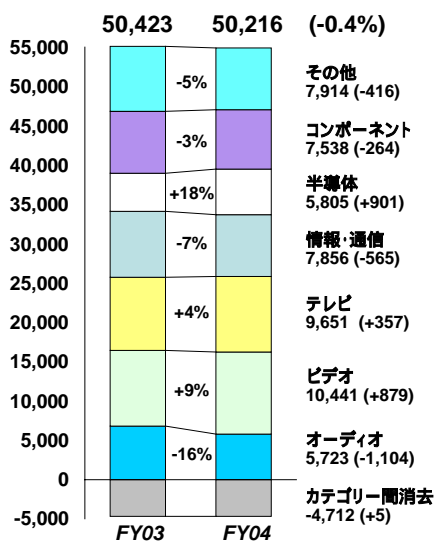
FY04 エレクトロニクス営業利益増減要因



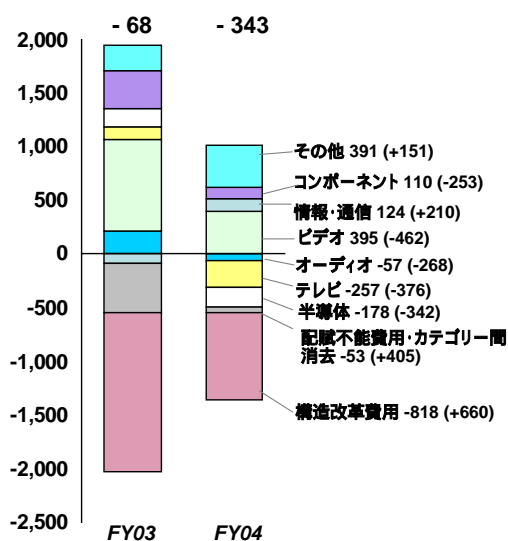
*前年度の償却費等については、FY04.2Qより音楽分野から移管されたディスク製造の影響を除いたベースで算出しています。

FY04 エレクトロニクス(製品カテゴリー別)

売上高



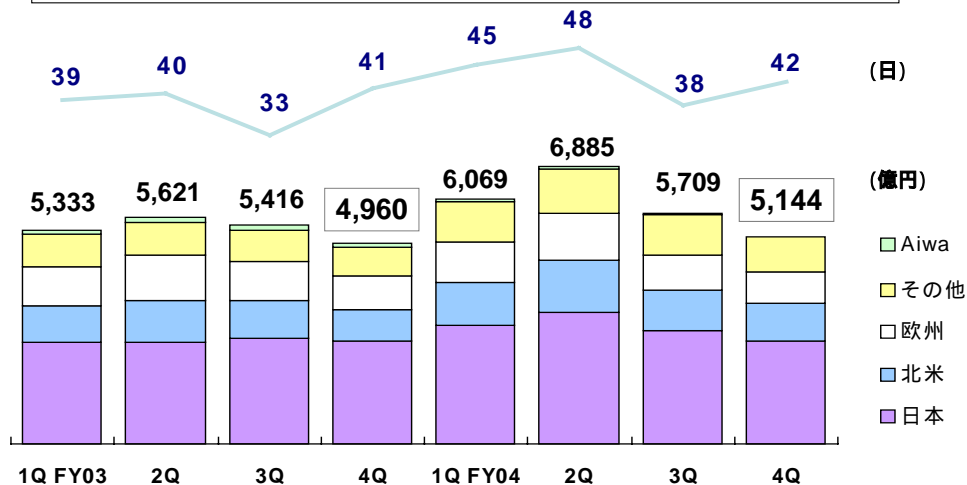
営業利益



()内は前年度比増減 (億円)

エレクトロニクス連結棚卸資産(地域別)

・05年3月末5,144億円、(前年度末比184億円増加, 04年12月末比565億円減少)、
 ・ゲーム分野の半導体在庫の移管を除けば、3月末の在庫は前年度末比で減少。



棒グラフ：棚卸資産(億円単位) / 折れ線グラフ：棚卸資産回転日数(期首期末平均棚卸資産÷期中平均日次売上) / FY03の棚卸資産は修正再表示しています。

ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ

Sony Ericsson		2003年4月-2004年3月	2004年4月-2005年3月	前年同期比
販売台数	(百万台)	30.6	43.1	+41%
売上高	(百万ユーロ)	5,206	6,475	+24%
税引前利益		80	460	5.8倍
当期純利益		100	267	2.7倍
ソニー持分への影響額	(億円)	64	174	2.7倍

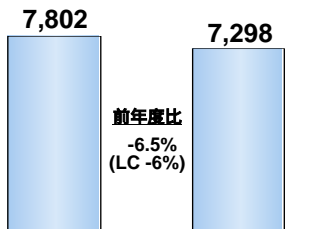
*ソニー・エリクソンは持分法適用会社であり、同社の当期純利益の50%(持分割合相当分)が、ソニーの持分法による投資損益に計上されています。ただし、ソニー・エリクソンの業績は、同社が採用する国際財務報告基準に則っており、ソニーの持分法投資損益に含まれる米国会計基準に則った業績とは異なります。

*ソニーの会計年度(2004年4月-2005年3月)に合わせ、単純にソニー・エリクソンのユーロベースの四半期の業績を合算したものです。

FY04 ゲーム

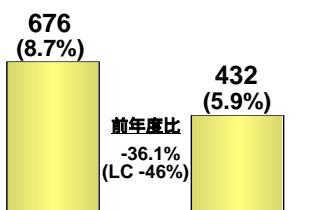
(億円)

売上高



- ハードウェア:日米欧でのPS2の販売数量の減少と、戦略的な価格引下げにより減収
- ソフトウェア:PS2用ソフトウェアの貢献により、増収

営業利益



- ソフトウェアが好調に推移したものの、ハードウェアの減収およびプレイステーション・ポータブルの立ち上げ費用の影響により、減益

FY03

FY04

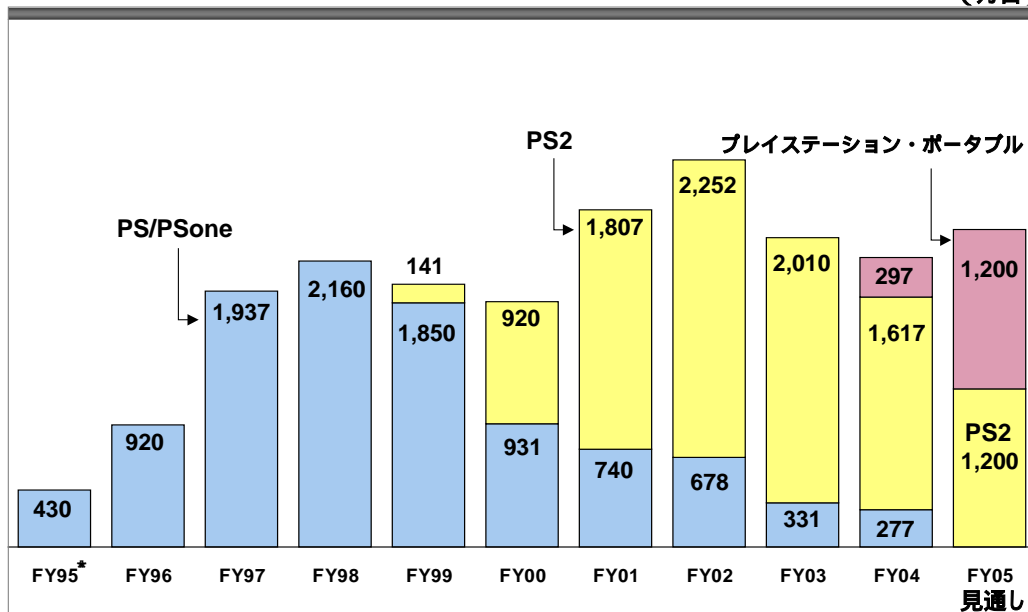
セグメント間取引を含む / LC:現地通貨試算ベースの伸び率 / 営業利益下の(%)は営業利益率

Sony Corporation Investor Relations

11

PlayStation ハード生産出荷台数推移 & 見通し

(万台)

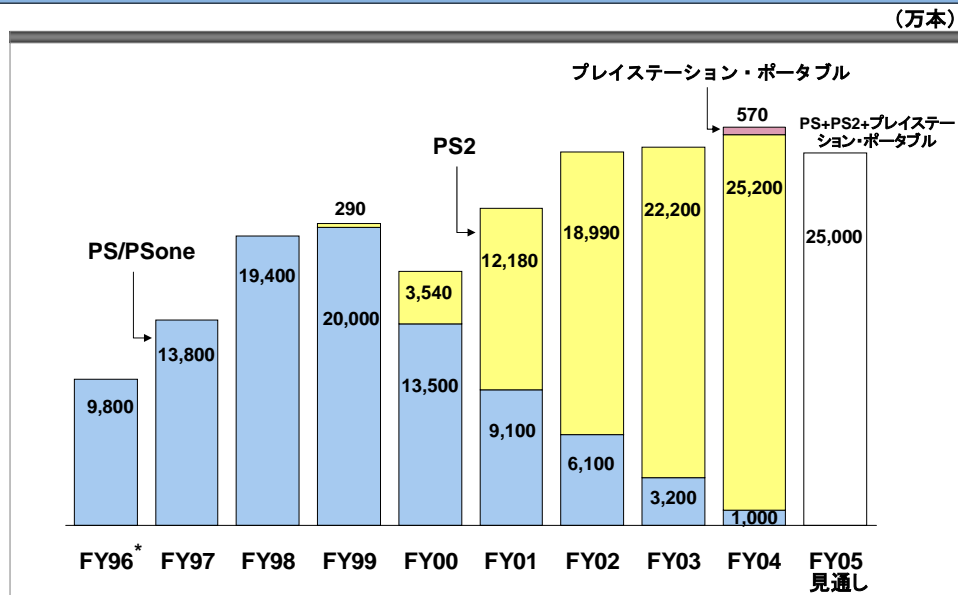


*FY95は94.12月から96.3月までの累計

Sony Corporation Investor Relations

12

PlayStation ソフト生産出荷本数推移&見通し



Sony Corporation Investor Relations

13

FY04 音楽		ソニーBMG	
ソニー連結 音楽分野 (億円)		ソニーBMG (億円)	
売上高 <p>4,403 (FY03) vs 2,491 (FY04) 前年度比 -43.4% (LC -42%)</p> <ul style="list-style-type: none"> SMEIの音楽制作事業の売上はソニーBMGに移管 売上構成: SMEI 38%、SMEJ 62% 		売上高 <p>3,421 (FY04)</p>	
営業利益 <p>-60 (FY03) vs 88 (FY04, 3.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> SMEJは、音楽作品の売上増加や原価率改善により増益 		税引前利益 <p>-56 (FY04)</p> <p>04年8月-05年3月</p> <p>上記の売上高および税引前利益は、ソニーが株式の50%を保有する持分法適用会社ソニーBMGの業績で、便宜上1米ドル=105円で計算しています。また上記利益には構造改革費用290百万米ドル(約305億円)が含まれています。</p>	
セグメント間取引を含む / LC: 現地通貨試算ベースの伸び率 営業利益下の(%)は営業利益率			

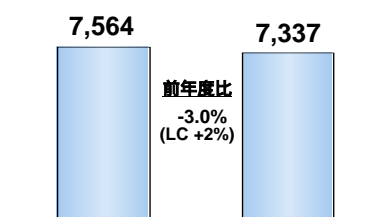
Sony Corporation Investor Relations

14

FY04 映画

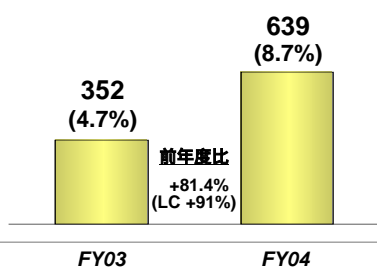
(億円)

売上高



- ・「スパイダーマン2」が大ヒット
- ・DVD/VHSソフト売上、映画のテレビ向け配給も増加
- ・一方、テレビビジネスの売上は減少

営業利益



- ・「スパイダーマン2」をはじめとする劇場公開作品やDVD/VHSソフトの好調が増益に貢献

セグメント間取引を含む / LC: 現地通貨試算ベースの伸び率 / 営業利益下の(%)は営業利益率

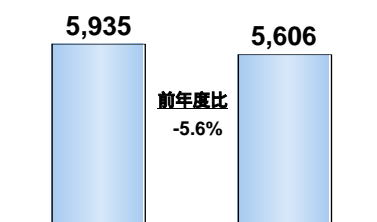
Sony Corporation Investor Relations

15

FY04 金融

(億円)

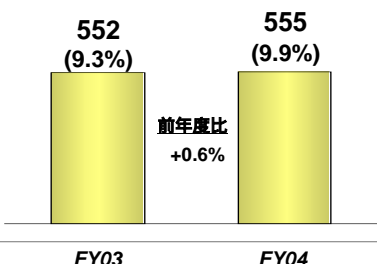
金融ビジネス収入



- ・ ソニー生命が生命保険の収益計上方法の変更で減収

ソニー生命収入
FY04: 4,743億円 (-7.5%)

営業利益



- ・ ソニー生命は、運用損益の減少により減益
- ・ 前年度はソニーファイナンスの所有しているリース資産の減損を計上

ソニー生命営業利益
FY04: 610億円 (-3.5%)

セグメント間取引を含む / 営業利益下の(%)は営業利益率

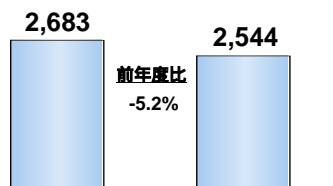
Sony Corporation Investor Relations

16

FY04 その他

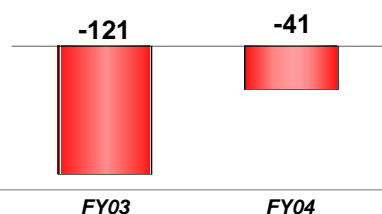
(億円)

売上高



- 日本で広告代理店事業を営む子会社において、契約変更にもないセグメント間取引の売上が減少

営業損失



- いくつかの事業でコスト削減を行ったこと、日本のショールームを含む商業ビルの売却益の計上により、営業損失が改善

セグメント間取引を含む

Sony Corporation Investor Relations

17

FY05 連結業績見通し

2005年4月27日現在	FY04	FY05見通し	前年度比	(億円)
売上高および営業収入	71,596	74,500	+5%	
営業利益	1,139	1,600	+40%	
税引前利益	1,572	1,700	+8%	
持分法による投資利益	290	50	-83%	
当期純利益	1,638	800	-51%	
構造改革費用*	900	720	-20%	
設備投資額	3,568	4,100	+15%	
うち、半導体向け	1,500	1,600	+7%	
減価償却費**	3,729	3,900	+5%	
うち、有形固定資産分	3,008	3,200	+6%	
研究開発費	5,020	5,200	+4%	
為替レート	FY04実績レート		FY05前提レート	
1ドル	107 円	103 円	前後	
1ユーロ	134 円	133 円	前後	

* 構造改革費用は営業費用に含まれる。

** 減価償却費は、無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む。

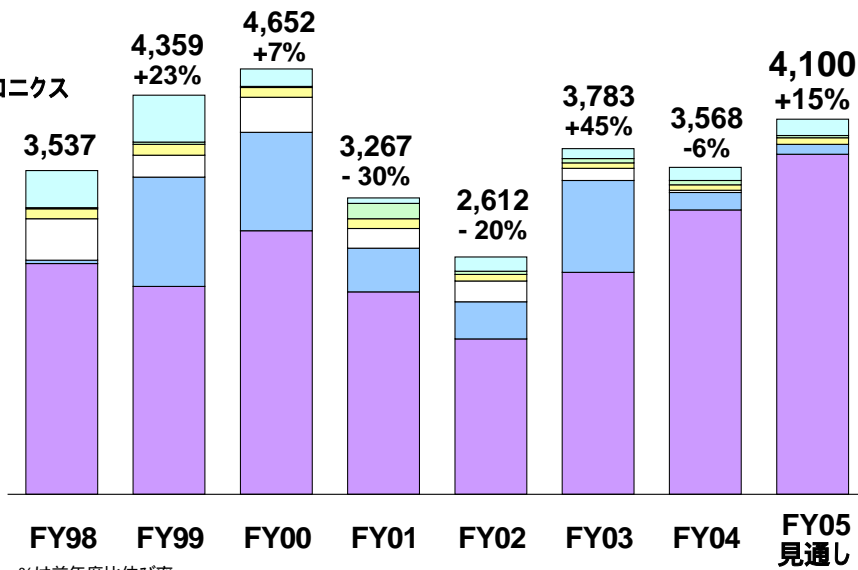
Sony Corporation Investor Relations

18

FY05 設備投資額見通し

- その他
- 金融
- 映画
- 音楽
- ゲーム
- エレクトロニクス

(億円)

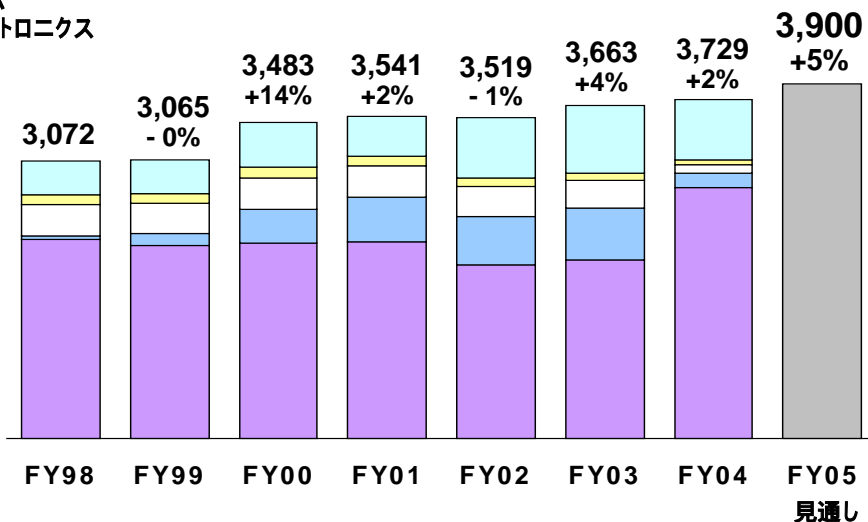


%は前年度比伸び率

FY05 減価償却費見通し

- その他
- 映画
- 音楽
- ゲーム
- エレクトロニクス

(億円)



無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む / %は全て前年度比伸び率

FY04.4Q 連結業績

(億円)

	FY03.4Q	FY04.4Q	前年同期比	前年同期 (LCベース*)
売上高および営業収入	17,722	16,970	-4.2 %	-4 %
営業利益	-1,098	-774		
税引前利益	-936	-619		
持分法による投資利益	55	5	-91.6 %	
当期純利益	-382	-565		
一株当り当期純利益(希薄化後)	-41.23円	-59.40円		
構造改革費用**	983	486	-497億円	

為替変動による業績への影響額

売上高および営業収入	: 約 -114 億円
営業利益	: 約 -19 億円

平均レート	FY03.4Q	FY04.4Q
1ドル	106円	104円
1ユーロ	133円	135円

* LCベース: 円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)
** 構造改革費用は営業費用に含まれる。

Sony Corporation Investor Relations

21

FY04.4Q セグメント別業績

(億円)

		FY03.4Q	FY04.4Q	前年同期比	前年同期比 (LCベース*)
エレクトロニクス	売上高	11,474	11,724	+2.2 %	+3 %
	営業損失	-1,293	-994		
ゲーム	売上高	1,267	2,221	+75.3 %	+76 %
	営業利益(損失)	-69	15		
音楽	売上高	1,050	392	-62.7 %	-63 %
	営業損失	-91	-26		
映画	売上高	2,366	1,906	-19.4 %	-17 %
	営業利益	366	137	-62.5 %	-62 %
金融サービス	金融サービス収入	1,521	1,561	+2.6 %	
	営業利益	172	163	-5.2 %	
その他	売上高	700	692	-1.1 %	
	営業損失	-65	-42		

LCベース: 円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis) / セグメント間取引を含む

Sony Corporation Investor Relations

22